



開設日
時間

原則毎週木曜日 9:00～17:00

12月は、7日(木)、14日(木)、21日(木)開設予定です。

※都合により、日程を急遽変更
する場合がございます。

予約制・無料

場所

姫路ものづくり支援センター

(姫路商工会議所 本館2F)



いまだ聞けない ITトピックス



会計業務の電子化

姫路ものづくり支援センター IT専門サポーター 鵜野 昭二
(ITコーディネータ)



大学を卒業後、繊維会社にて約4年間製品開発を担当。その後、ソフトウェア会社のシステム開発、建設会社の経理事務を経験し、現在の有限会社フレバー情報システムを設立。主に業務系システムの提案、開発から運用・保守業務までを生業として現在に至る。

業務でパソコンを利用する時、最も活躍するのはエクセル(Excel)だと思います。業種、部署に関係なくよく利用されています。

振り返って業務ソフトの利用を考えた場合、会計ソフトの導入率が一番高いようです。

では会計業務を電子化した場合、どのようなメリットがあるのでしょうか。

まず手書きで記帳する場合を考えると

1. 各取引の仕訳を伝票に記帳する
 2. 仕訳から各勘定科目の元帳に転記する
 3. 元帳を集計して勘定科目ごとの金額を算出する
- という一連の作業を経て、はじめて貸借対照表・損益計算書などの資料を作成することができます。

ところが、会計ソフトを導入すれば、1.の“各取引の仕訳を会計ソフトに入力する作業”だけで記帳業務は済んでしまいます。

2.の“元帳への転記作業”や3.の“勘定科目ごとの金額を算出して月次試算表等を作成する作業”については、会計ソフトが自動計算してくれます。

また記帳業務の代行を会計事務所に依頼している場合は、領収書、請求書等の書類を会計事務所に預け、会計事務所側で、記帳入力するので財務状況の把握が遅くなります。

自社で会計ソフトを導入すれば、月次試算表などの書類をすばやく作成することができ、業績や財務状況について、正確かつリアルタイムの情報を得ることが可能になります。

いかがでしょうか。

自社の経理業務を電子化すれば前記のようなメリットがあります。

パソコンを使って会計ソフトに記帳入力するといっても、特別むずかしく考える必要はありません。

たいていの会社では、毎月の取引内容はパターンが決まっています。

何度か入力しているうちに慣れていって、いつの間にか何の問題もなく処理することができるようになるケースがほとんどです。

また、入力作業についても、会計ソフトの機能をうまく使うことにより、手間と時間を短縮することが可能です。たとえば、頻繁に出てくる仕訳を登録しておく、銀行の取引を取り込んで自動仕訳するなどの機能があります。最近は音声入力の精度が飛躍的に向上しているのでマイクを使って入力すればキーボード入力の回数も大幅に減らすことも可能になります。

導入費用も最近は月額2,000円程度で利用できる安価で使いやすい会計ソフトが多く使われています。まだパソコン会計を導入していない会社様・個人事業主様は、これを機会にぜひ一度ご検討されることをお勧めいたします。具体的な導入方法は姫路商工会議所 IT相談窓口でご相談いただけます。



お気軽に、お電話・FAX・メールでお問合せ下さい。

姫路ものづくり支援センター (姫路商工会議所・姫路市)

TEL 079-221-8989 FAX 079-288-0047 メール kougou@himeji-cci.or.jp